

出羽商工会景況調査報告

〔調査要領〕

調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100社 (製造業24、建設業24、小売業25、サービス業27)

調査時点 : 平成30年12月、平成31年3月

調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング

※D. Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、以下により算出している

$$D. I. = \text{【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】} - \text{【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】}$$

【全体】

- ・全体の1-3月について、DIは悪化している。
- ・製造業、サービス業については緩やかに回復傾向にはあるが依然景況感マイナスである。
- ・小売り、建設業については閑散期ではあるが、大幅なDIの悪化となっている。

【建設業】

- ・内覧会等を実施し新規顧客開拓に努めている。増税前の駆け込み需要にも期待したい。
- ・今年は暖冬のため屋外での仕事も予定通り進めることができ安定した仕事に繋がった。
- ・人手不足が売上減少につながっている。

【サービス】

- ・メンテナンス期間が終わり少しずつ客足は回復してきている
- ・原材料等の仕入れ単価が上昇している。

【小売】

- ・例年冬期間は品数が減るため来店客数が減少するので加工品の開発等に力を入れている

12月調査 前期 (7月 - 9月) と比べて今期 (10月 - 12月) の業況は					3月調査 前期 (10月 - 12月) と比べて今期 (1月 - 3月) の業況は						
区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体	区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体
好転A	8.3	19.0	10.5	7.4	11.0	好転A	12.5	13.0	4.5	18.2	12.1
不変B	54.2	71.4	68.4	70.4	67.0	不変B	58.3	52.2	45.5	59.1	51.6
悪化C	37.5	9.5	21.1	22.2	22.0	悪化C	29.2	34.8	50.0	22.7	36.3
DI (A-C)	-29.2	9.5	-10.6	-14.8	-11.0	DI (A-C)	-16.7	-21.8	-45.5	-4.5	-24.2

景況判断「DI」全業種及び業種ごとの推移

